

くにたち

そのメンテナンス作業故に、鉄道は長く3Kの烙印を押されてきました。車両は重く煤け、軌道は長くその保守作業は夜間に限定されます。今月号でご紹介した状態監視・診断技術や、耐久性に優れた補修方法の開発が、少しでも負担軽減に繋がることを期待したいと思います。

震災後に移転してしまいましたが、神戸にあった検修工場で車両のメンテナンス作業などを勉強させて頂いたことがあります。20tを超える電車の車体をクレーンで軽々と持ち上げ、新品同様に整備した台車上に寸分の狂いもなく載せる技にはとても驚かされました。職場で使う工具には、車種や作業方法に応じた創意工夫が随所に見られました。メンテナンス作業は、地道な修練と担当者による技術開発が支えています。そこには、3Kとは無縁の達成感や面白さがありました。(T. H.)

■2月号の訂正とお詫び

RRR誌2011年2月号の『鉄道総研パテントシリーズNo.130』のなかに誤植がございました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

箇所	誤	正
39ページ 《権利メモ》欄内 出願日	(2003.8.13)	(2003.3.20)

■監修責任者

熊谷則道

■編集責任者

西江勇二

■企画・校閲

柳川秀明, 坂本義雄, 豊岡友裕, 早勢 剛,
遠藤三郎, 富岡隆弘, 大江晋太郎, 杉本一郎,
重枝秀紀, 吉田 真, 佐溝昌彦, 福田光芳,
野末道子, 上原元樹, 植木健司, 志村 稔,
藤浪浩平, 高橋紀之, 中山康二

■編集・出版

財団法人 研友社

次号 ■ 平成23年5月号 ■ 予告

特集：可視化技術

インターネットのホームページで、様々な最先端の鉄道技術の紹介や関連する情報を提供しています。

■鉄道総研アドレス

http://www.rtri.or.jp/index_J.html

■研友社アドレス

<http://www.kenf.or.jp>

■記事に関するお問い合わせ先

総務部 広報 電話042-573-7219